

保育士・社会福祉士等 養成校実習のマニュアル（2014）

社会福祉法人昌和福社会
千田西保育所
千田保育所

常に子どもの育ちと子育てを支えている保育所では、次世代の福祉施設を支える職員の育成のため多くの研修生を受け入れています。

研修生の心得

1. 研修とは

将来、福祉施設で働くことを予定している者が、その職場環境を知り、学校等で学んだ理論を実体験を通じて深め、諸問題に対しての検証・および解決能力を養うための研修を行います。

（計画・実施（保育活動）・検証（反省）から構成されます。）

2. 研修を通じて

「保育所」と「利用者」と「職員（職場）」を知り、保育士、社会福祉士の使命を学びます。一社会人としての成長が期待できるように、働くことの楽しさを感じます。

3. 研修のワンポイントアドバイス

『明確な目的意識を持ちましょう』

研修の期間は、限られています。必要な体験は計画をもって取り組みます。そのためにも、十分な打ち合わせと、準備が必要です。

『自分で判断せず、必ず担当者に聞きましょう。』

子どもの命を預かる職場ですので、自分で判断に迷う場合は、必ず指示を仰ぎましょう。また、後に時間がある場合、そういった場合での行動基準などの理解を深め、また、反省をして次の場面で生かせるようにしましょう。

『あなたの持ち味を生かす』

特別な知識や技術を身に付けなくても今もっている趣味や仕事を生かさせます。あなたの持ち味を生かしましょう。

『相手を理解して活動しよう』

職場は、フットワークとチームワークです。何を求めているか、考えて行動しないと、逆に迷惑をかけることにもなります。心配りや話し合いなど連携をとって活動しましょう。

『無理をせず、自己管理をしよう』

研修期間中は緊張の連続です。体調管理には十分気を付け、期間をまっとうできるようにしましょう。

『最低限のルールを守ろう』

研修にも最低限のルールがあります。約束や秘密を守り、清潔感を維持し、けじめをつけた活動をしましょう。

『でも、最後は・・・気楽な気持ちで』

まず自分ができること、やりやすいことを身の回りから見つけて活動を始めましょう。

研修生の心構え

いよいよ始まります。理論と実践をどう体現するか深く考える前に、現実にある子どもたちの姿を見て、どう接すればよいかよく考えてください。実りのある研修になるようにがんばってください。

- ①自分より、はるかに小さい子どもたちの中で過ごすことになります。自分の過去、幼児期を振り返ってどんなことが思い出されるでしょうか。
- ②楽しかったり、悲しかったり、頭にきたり、うれしかったり、いろいろなことがあった幼児期、友だちや先生などいろんな人が周りにいたことでしょう。今度はあなたがその「人」になります。
- ③小さい子どもたちには、あなたたちはとても大きく、頼もしい存在だと映るでしょう。将来あんなふうにならなうと思いついて描いてみましょう。
- ④出来るだけ丁寧に話しかけてみましょう。自分から名前を告げることも忘れずにしよう。小さい子どもたちは、びっくりしてしまいます。やさしく気をつけてあげましょう。
- ⑤活動が終わったら「おもしろかったね」「またあそぼうね」と、あいさつや言葉がけをしてみましょう。御礼の心も忘れないようにしましょう。

子どもたちからどんな反応が返ってくるかな？ 楽しみにがんばってみましょう。

<研修生受入れ手順等>

受入れ窓口・・・・・・・・千田西保育所・千田保育所で受け付けます。

担当者の設置・・・・・・・・所長・主任保育士・指導保育士・地域子育て支援センター担当者

ボランティアの種類・・養成校における単位習得のため

受入れ対象者・・・・・・・・年齢性別によって制限はありません。

※混み合う場合、受け入れ制限を行う場合もあります。

受付方法・・・・・・・・直接訪問を必ず行う。(最初のアポイントは電話・FAX・email等)

オリエンテーション・・受付時に保育所で(又はメール等で)心得や必要伝達項目をお知らせします。

○下記の研修生の登録を行います。

○持参物

エプロン2枚、三角巾、帽子、メモ帳、筆記用具、

その他、楽譜、玩具、水着や着替え(夏期)、防寒着(冬期)等

※お弁当(ごはんのみ:千田保育所のみ)

○身の回りの格好

つめ・髪・服装を清潔にする。

服装は、動きやすいもの(サンダルは不可)

プログラム内容・・・・・・・・

養成校(制度)により期間・時間・研修内容によって異なります。

最終的には本人の希望を元に決定します。

通常 8:30までに集合・準備

9:00より活動

13:00より1時間休憩

16:30~17:30までに解散

※これ以外に、休日保育・早朝保育・延長保育・支援センターでの活動も体験できます。

※各クラスの担任・および主任保育士が、研修前、研修後に指導します。

(所定のデイリープログラムのチェック、日誌の確認をします。)

※最初と中間日と最終日に所長が、直接説話をします。

事後評価・・・・・・・・終了時間30分前に、評価反省をまとめます。

保護者・児童に対して・・実習生の園での活動を知っていただくため、活動日に部屋の前に自己紹介文を掲示します。(当日朝に作成)

衛生(検便等)・・・・・・・・必ず行います。(事前に検査報告などの書類を提出してください。)

給食等・・・・・・・・保育所で参加者に用意します。(お茶は各自持参)

1日につき千田西保育所 250円 千田保育所 213円を徴収します。(2014年度)

下記の機関との連携をします。

小学校・中学校・保育士養成校(専門学校・短期大学・大学)・福祉機関(県社協等)

行政(国・市(児童部その他))

養成校実習生登録書

社会福祉法人昌和福祉会
千田西保育所
千田保育所

登録日	年 月 日
ふりがな 名 前	
生年月日・性別	年 月 日 (歳) 男 ・ 女
所 属	学校名 学科 学年 年
連 絡 先	現住所 実 家 自宅電話番号 (- -) 携帯電話番号 (- -)
希望する日・時間	期間 (第1期) 年 月 日 ~ 月 日 期間 (第2期) 年 月 日 ~ 月 日 時間 : ~ :
指導担当訪問日	年 月 日 : ~
実習をする内容	
交 通 手 段	・バス ・自転車 ・送迎してもらう ・自家用車
担 当 者	()
事 前 説 明 オリエンテーション	・あり ・なし 説明日 年 月 日

備考
